



ほほえみ

令和元年度より「鎌ケ谷市男女共同参画推進センターニュース」と情報誌「ほほえみ」は合併し、今回はリニューアル第1号となりました。リニューアル後の「ほほえみ」は、パープルリボンをイメージしたカラーとなっています。

 パープルリボンとは「女性に対する暴力根絶運動のシンボル」です。

女性のためのパソコンおしごと準備講座は大盛況！

5/15 ~ 6/26 全8回開催



就職に役立つパソコン検定3級の取得を目指して、WORD、EXCEL、OS・ネットワークや情報セキュリティの知識・スキルを学びました。指導にあたったのは鎌ケ谷市男女共同参画関係団体として登録している「ITサポートありのみ」の皆さんです。

保育付きというのが
すごくありがたかっ
たです

エクセル、ワードに対して、
少し自信ができました。
自分に出来る仕事の幅が
広がった気がします

根気よく教えていただ
いたおかげで、これか
らも勉強を続けていこう
という気持ちになりました

受講者の皆さんへ



講座の最終日まで欠席者はほとんどなく、ビジネスに役立てようという皆さんの熱意が伝わってきました。年齢にかかわらず“学ぶこと”は生活や自分に余裕がでてくるものだと思います。機会があれば、ぜひ一緒に勉強を続けていきましょう。
P検定にチャレンジする皆さんを応援しています！

ITサポートありのみ Web サイト <https://it-arinomi.com/>

鎌ケ谷市では6月29日（土）に男女共同参画週間事業として、史上最年少の17歳でノーベル平和賞を受賞したマララ・ユスフザイさんの勇気と感動の実話「わたしはマララ」の上映および国連女性の地位委員会日本代表の田中由美子さんによる「途上国の女性たちの現状と未来について」の講演会を開催しました。当日は雨模様でしたが、300人を超える参加があり、感想も沢山寄せられました。



田中由美子さん

マララは勇気のある少女です。学校帰りにタリバンに襲撃され生死をさまよっても、何も恐れることがなく、世界中の子どもたちに教育の大切さを訴え続けています。学ぼうと思えば学べるという自由が日本にはありますが、学んだことを自分のため、地域の人々のためにもっと役立てていけるようになれるといいですね。

参加者の感想

マララの強い信念を感じました。子供の教育と男女平等の大切さを理解しました。JICAの活動を理解できました。

この映画を中・高生にも是非見てもらいたい。教育を受けられることの素晴らしさや幸せである事を。学校に行きたくても行けない子供達がいる、自分達はどんなに恵まれているか、考えてもらいたい。

ノーベル平和賞に値するマララの強い生き方に感動した。田中さんのトークでアフガニスタンの現在の流れが良く理解できて、とても有益だった。



きらり鎌ケ谷体操でリラックス

令和元年度男女共同参画週間の実施にあたり、内閣府は「学び」を通じて、男性も女性も、ひとりひとりが、多様なライフキャリアの形成と選択ができる社会の実現に向けたキャッチフレーズを募集。応募総数1900点の中から選ばれた下記の最優秀作品2点が今年度のポスターに使われています。

- ・男女共同参「学」
- ・知る 学ぶ 考える 私の人生 私がつくる





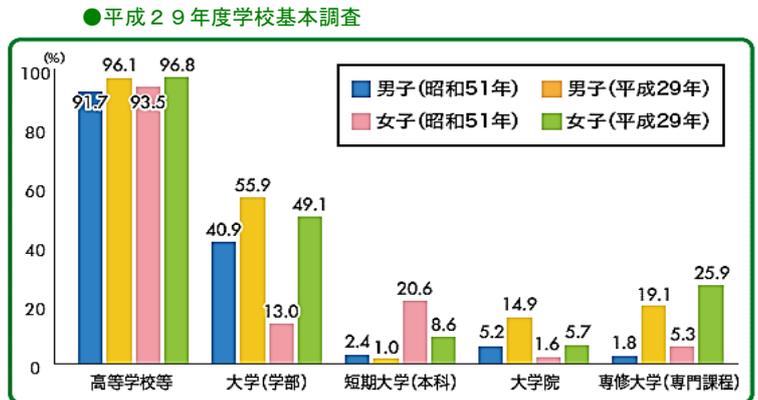
女性と教育

女性も男性も共に能力を発揮できる社会を目指す「男女共同参画社会基本法」が制定されて、今年で20年になります。この間、様々な取組が進められ、女性の活躍の動きは拡大してきました。

教育についても、高等教育機関への進学率が大きく上昇し、進学先も徐々に多様化してきましたが、一方で、現在でも進学や就職などの進路選択には男女差や相違が見られます。

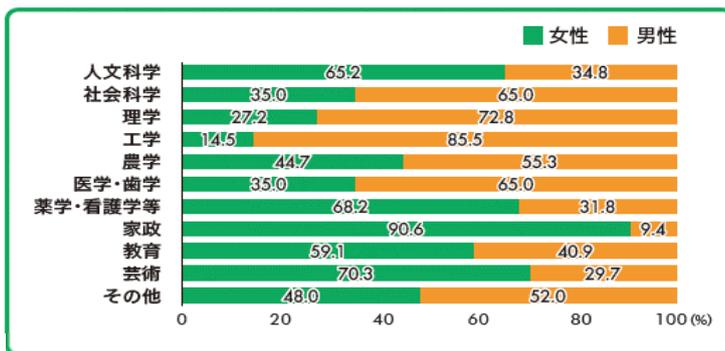
学校種類別進学率の推移をみると

女性の大学（学部）進学率は49.1%であり、長期的には上昇傾向にあります。男性55.9%に比べると6.8ポイント低い状況にあります。なお、女性の短期大学への進学とあわせると、女性の高等教育機関への進学率は57.7%となっています。



(出典：文部科学省)

●平成29年度学校基本調査



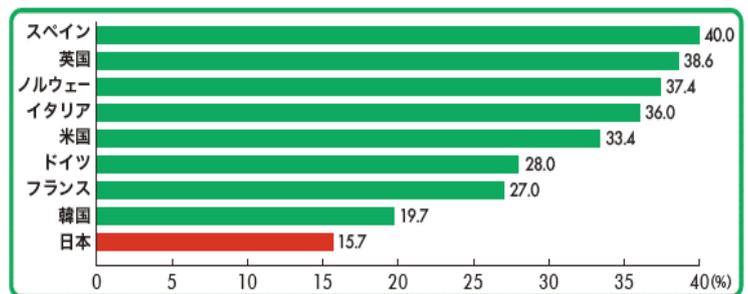
(出典：文部科学省)

専攻分野別に女性の割合をみると

薬学・看護学等、人文科学及び教育は引き続き高止まりしていますが、理学（女性27.2%）、工学（女性14.5%）分野は依然少なく、専攻分野別に男女の偏りが見られます。

研究者に占める女性割合を国際比較してみると

日本の女性研究者数は増加傾向にありますが、その割合は諸外国と比較すると、なお低い水準にあります。



(出典：総務省「科学技術研究調査（平成29年）」、OECD、米国立科学財団)

家事、育児の負担が女性に偏っていることや固定的な性別役割分担意識が社会人女性の学びを制約し、男性中心型労働慣行が女性の進路選択に影響していることが考えられます。

人生100年時代を見据えた質の高い教育や学び直しの必要性が高まる中で、従来の固定的性別役割分担意識や男性中心型労働慣行を見直し、多様な選択を可能にする学びを充実していくことが、男女共同参画の更なる進展に向けた土台になると言えるかもしれません。

男女共同参画推進センターこれからの予定



申込先着順 女性のためのエンパワーメント講座

- 9月27日(金)AM 女性の働き方と税金・社会保険制度 講師:熊谷明子さん(1級ファイナンシャルプランナー)
 10月29日(火)AM 女性のための再就職支援講座 講師:山口智子さん((株)山口データサービス代表取締役)
 11月14日(木)AM 女性のための再就職支援講座 講師:リー寿美子さん(キャリアコンサルタント)

申込先着順 きらりサロン

- 11月27日(水) 更年期のセルフケア 講師:宮原富士子さん(NPO法人HAP理事長)

申込先着順 ヒューマンフェスタかまがや2019

- 12月8日(日) 午後1時30分から4時 きらりホール
 中学生による人権作文朗読・映画上映「母さんがどんなに僕を嫌いでも」

申込不要 ツリーにリボンを飾りましょう! (センターにツリーを設置します。ぜひご参加ください。)

10月 **ピンクリボン**ツリー (乳がん予防月間)

11月 **オレンジリボン**ツリー (児童虐待防止推進月間)

パープルリボンツリー (女性に対する暴力をなくす運動 11/12~11/25)



申し込み方法等の詳細は市広報またはセンターHPで随時お知らせします。お楽しみに!!

センター図書 のご案内

センターでは男女共同参画に関する図書の貸し出しを行っています。また婦人公論と日経WOMANは最新号をセンター内で読む事が出来るほか、6か月経過したバックナンバーは貸出もしています。ご希望の方はスタッフにお声をお掛けください。



センターから

当センターでは、きらりサロンや各種講座、イベントなどの情報をホームページに掲載するほか、チラシやポスター等でお知らせしています。ぜひ、お気軽にお立ち寄りください。



鎌ヶ谷市男女共同参画推進センター (鎌ヶ谷市富岡 1-1-3 ショッピングプラザ鎌ヶ谷 3階)

TEL: 047(401)0891 FAX: 047(401)0892

Web: http://www.city.kamagaya.chiba.jp/sesakumidashi/sesaku-danjokyoudo/danjo_center/

開所時間 午前9時~午後5時 (ミーティングスペースの利用は午後10時まで) 施設休所日を除く毎日